土佐和紙×現代サーカス/国際共同ラボ
「Matièresマチエール」ワーク報告会

現代サーカスと高知の「土佐和紙」を掛け合わせたら、どんな世界が生まれるだろう？
サーカスと和紙って、どうつながるの？！と思われるかもしれません。
瀬戸内サーカスファクトリーは、これまでに鉄工、石加工、木工など、さまざまな地域産業や職人さんの作るモノをサーカス器具にしたり、舞台美術にするなどして、独創性の高い現代サーカス作品をつくってきました。
ヨーロッパの現代サーカスレーベル「circusnext」との共催により、土佐和紙をテーマに創作ラボラトリー「Matièresマチエール」を実施いたします。フランスより2人のアーティストが来日し、日本人プロ・サーカスアーティストとともに約10日間を過ごし、高知のWashi＋／鹿敷製紙などの協力をいただき、土佐和紙を使った現代サーカス表現を実験。高知県立美術館ホールにて、映像やインスタレーションを交えてトークで発表いたします。

登壇：

◆ Inbal Ben Haim　インバル・ベン・ハイム（イスラエル）
エルサレム出身。造形芸術を志した後フランスに渡り、フランス国立サーカス大学CNACで学び、卒業。美術と現代サーカス、その他のジャンルを横断した作品づくりは注目を集め、2021年、ヨーロッパ現代サーカスプラットフォーム「circusnext」のコンクールで大賞を受賞。

◆ Domitille Martin　ドミティユ・マルタン（フランス）
パリの国立高等装飾美術学校を卒業。造形作家、複合的な素材を使った彫刻家として、パフォーミングアートの演者が動き回る空間の舞台美術を手掛ける。彼女の手に係ると、人間だけでなく、動物・植物、鉱物なども「変貌/メタモルフォーゼ」をとげていく。Pierre Gautier-Delaye賞の大賞を獲得し、202〜2021年のパリ国際芸術都市レジデンス・アーティストとなる。

Hasegawa

◆吉田亜希 Aki Yoshida
（エアリアル、オリジナル器具のアーティスト）
◆長谷川愛実 Aimi Hasegawa
（エアリアルアーティスト）
◆谷口界 Kai Taniguchi
（シルホイール・アーティスト）
ほか、ラボラトリー参加日本人アーティスト

◆日時 ： 2023年7月24日（月）19:00-20:30
※ご予約のある方は18:30-入場可能、
ご予約のない方は18:45-の入場を予定しております。
◆登壇・発表者 ： Inbal Ben Haim、Domitille Martin、Washi+浜田あゆみ、吉田亜希、長谷川愛実、谷口界ほか
◆モデレーター・通訳： 田中未知子（瀬戸内サーカスファクトリー）
◆内容 ： プロジェクトについて／インバル・ベン・ハイムら 2人のフランスのにおける創作／舞台作品「Pli」の紹介／映像・写真を紹介しながら高知でのラボ報告トーク
◆観覧料：無料
◆定員： 100人
ご予約：右のQRからフォームに入力ください→
お問い合わせ：info@scf.or.jp
※QRがご使用になれない方は、お名前、人数、ご連絡先メールアドレスを明記のうえ上記メールにお申し込みください。

Photo: Reiko Wakai

＜会場＞ 高知県立美術館ホール（高知県高知市高須353-2）
＜アクセス＞
駐車場：自家用車普通車144台まで
公共交通等の情報は高知県立美術館HPから
ご確認くださいませ。
高知県立美術館公式HP→